

2010/12/1
2011/6/22 改訂
2013/12/27 改訂
2014/12/20 改訂
2017/11/13 改訂
2018/2/14 改訂
2019/3/12 改訂

知識情報・図書館学類における卒業論文書式

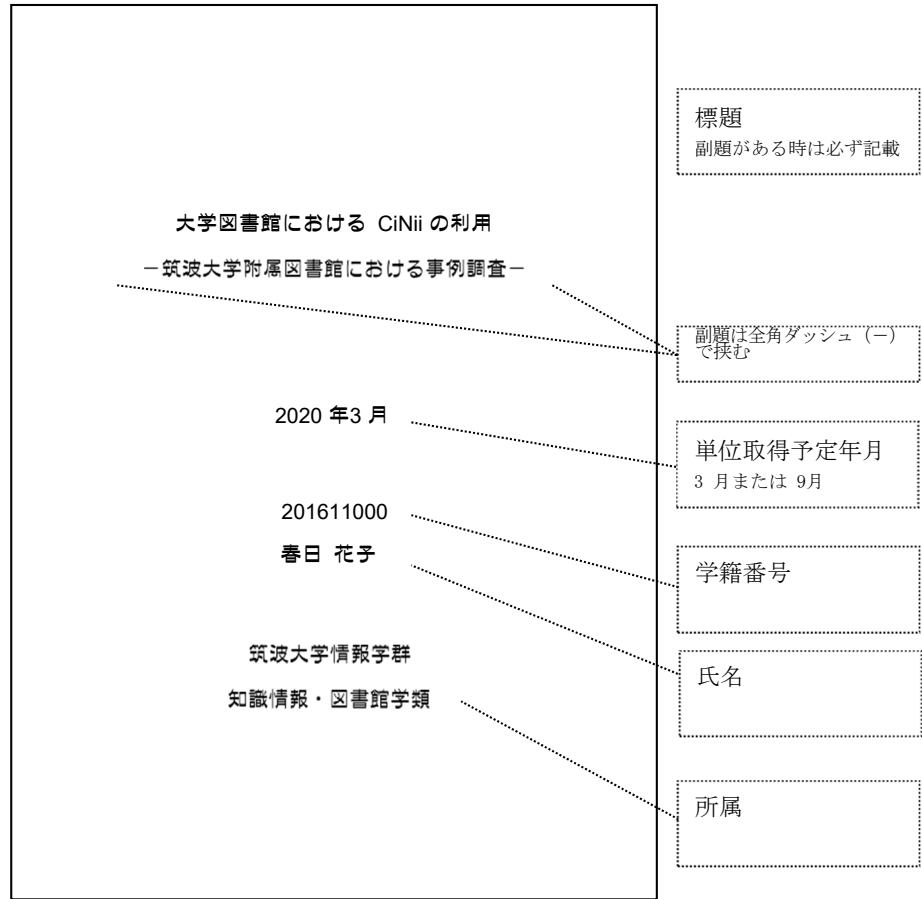
論文の体裁

- 本文言語は日本語または英語とする。
- 標題と本文の言語は一致していること。副題をつける場合は主題とは空白または改行で区切り、原則として全角ダッシュ（英語の場合 em dash）で挟んで表示する。
- A4 判用紙を縦使いで使用する。横書き・左綴じを原則とするが、指導教員の指示がある場合は縦書き・右綴じでも良い。
- ワードプロセッサ等で作成し、統一したページレイアウトで印刷すること。
- 本文は一段組み、フォントサイズは 10.5 ポイントから 12 ポイントとし、論文内では統一する。
- 論文には標題紙、目次、本文、参考文献を必ず含むこと。
- 本文には研究目的や結論、および、結論を導くために必要な説明が含まれていること。
- 本文の分量は12,000 字以上（英文のみの場合は4,000語以上）とする。本文には目次、参考文献、図表リスト、謝辞、付録を含まない。また、図表中に含まれる文字・数値等も本文には含まないこととする。
- 論文は、標題紙、目次、本文、参考文献等すべてを、PDF形式の電子ファイルひとつにまとめて提出する。標題紙に標題・卒業年月・学籍番号・氏名・所属を記載する（様式 1）。

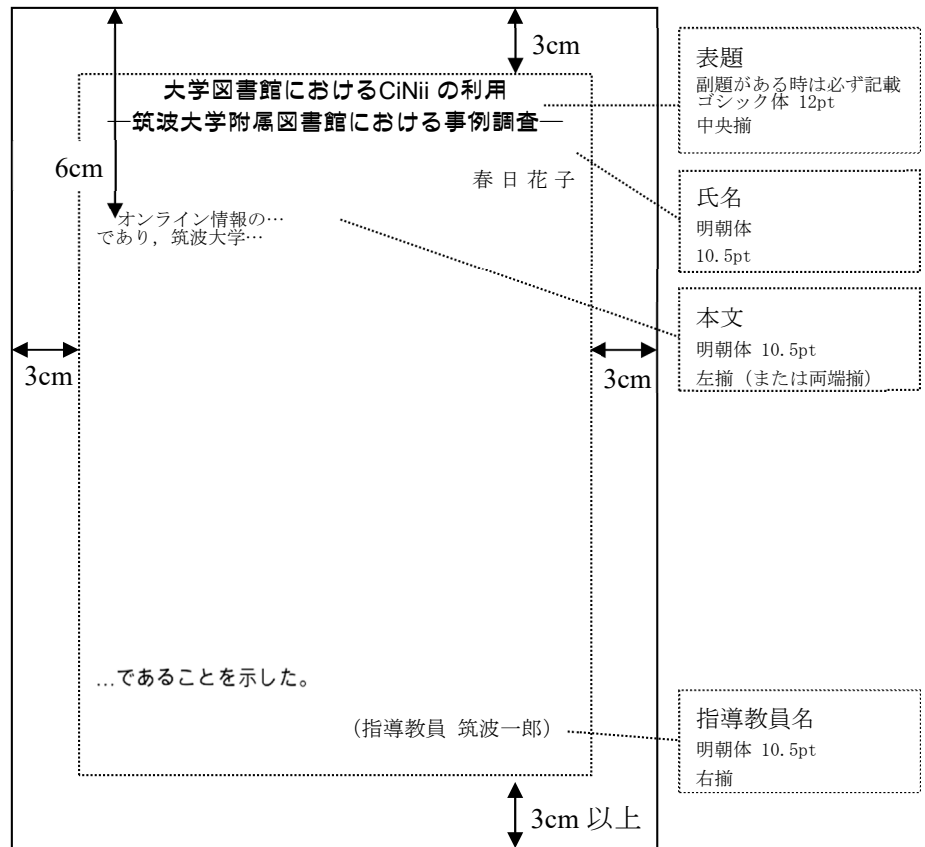
抄録の体裁（様式 2，MS-Word 形式のテンプレートを配布）

- 標題、氏名、抄録本文、指導教員名を含むこと。
- 本文フォントは明朝体（英文はセリフ体）、サイズは 10.5 ポイントとする。
- 標題のフォントはゴシック体（英文はサンセリフ体）、サイズは 12 ポイントでセンタリングすること。
- 氏名、指導教員名は本文と同一書体・同一サイズとし、右寄せすること。
- A4 判用紙を縦使い・横書きで使用し、上下左右の余白は 30mm、用紙上端から本文上端まで 60mm とすること。
- 抄録は必ず1ページに収め、2ページ以上にしてはならない。
- 抄録は論文のファイルとは別に提出すること。

様式1 表紙（標題紙）の体裁



様式2 抄録の体裁



PDF の仕様

- 1) PDFファイルのセキュリティ設定は無いものとし、閲覧や印刷に制限を付けたり、パスワードを付いたりしないこと。
- 2) 埋め込んだ図表や画像の内容が読み取れる程度の解像度であることを確認すること。また、PDF変換時に画像の品質が劣化しないよう注意すること（下記の設定例を参考にすること）。

※参考のため、Adobe Acrobat によって作成する際の設定を以下に示す。他のソフトウェアによりPDFファイルを生じている場合は、これに準じた設定とすること。

印刷時にプリンタのプロパティから Adobe PDF 設定を開く（図 1）

- PDF 設定：高品質印刷
- セキュリティ：なし
- ページサイズ：A4
- 文書情報を追加：オフ
- システムのフォントのみ使用し、文書のフォントを使用しない：オフ

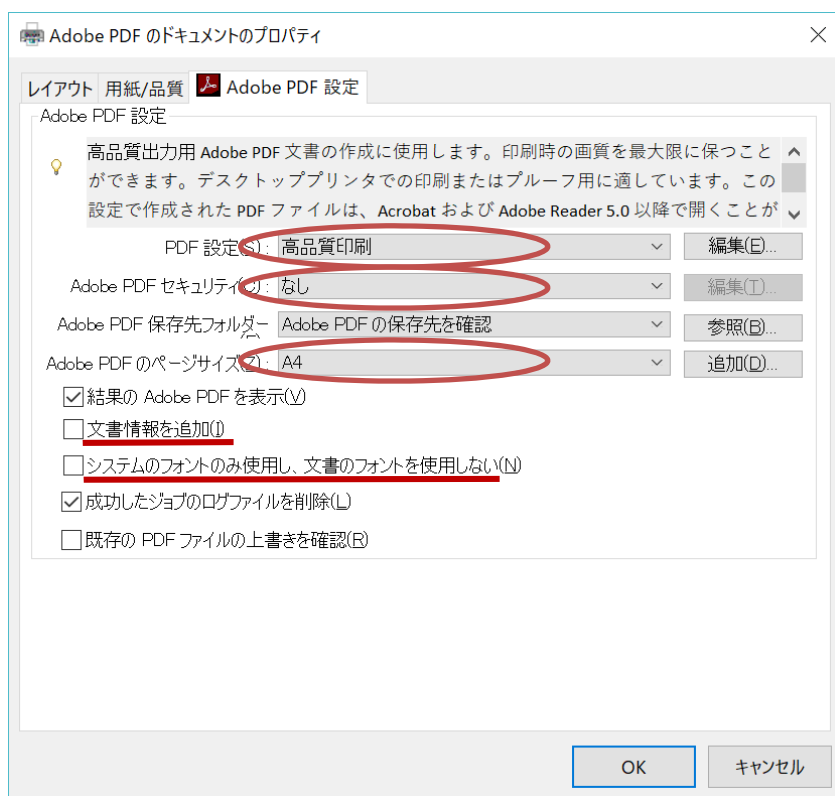


図 1 プロパティ設定

参考：PDF 設定「高品質印刷」のパラメータ

- PDF の形式：PDF 1.4 (Acrobat 5.0 以降)
- オブジェクトレベルの圧縮：タグのみ
- 解像度：2400dpi
- フォント：全てのフォントを埋め込む，サブセットの全フォントに対する割合=100%
- カラー画像：ダウンサンプル（バイキュービック法）300ppi，圧縮=自動（JPEG），画質=最高
- グレースケール画像：ダウンサンプル（バイキュービック法）300ppi，圧縮=自動（JPEG），画質=最高
- 白黒画像：ダウンサンプル（バイキュービック法）1200ppi，圧縮=CCITT G4，アンチエイリアス=オフ